

主催：応用物理学会 日本光学会 微小光学研究グループ
第 109 回微小光学研究会

光と分子の微小光学

光と分子・分子振動の相互作用とその応用



日時：2008年10月9日(木)10:00-17:30

会場：早稲田大学理工(大久保) 55号館N棟1階大会議室
東京都新宿区大久保3-4-1

交通：西早稲田駅出口3(東京メトロ副都心線) 徒歩1分
新大久保駅(JR山手線) 徒歩12分
高田馬場駅(JR山手線、地下鉄東西線、西武新宿線)
徒歩15分

都バス 都立障害者センター前下車 徒歩3分

(池86)池袋駅東口→渋谷駅東口、(早77)新宿駅西口→池袋駅東口
(高71)高田馬場駅前→九段下

<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/index.html>



プログラム

10:00~10:10 開会の挨拶

10:10~10:40 【イントロダクトリー・トーク】「光と分子振動の相互作用」 後藤顕也(東海大, 産総研)

10:40~11:10 「白色レーザーを用いた CARS 分光イメージング」 加納英明(東大, JST さきがけ), 浜口宏夫(東大)

11:10~11:40 「マルチモードライン照明高速走査型レーザーラマン顕微鏡」 大出孝博(ナノフoton)

11:40~12:10 「光ファイバードップラーセンサー」 町島祐一(LAZOC)

12:10~13:30 <昼食休憩>

13:30~14:10 【特別講演】「多光子励起光音響と In vivo イメージング」 高松哲郎(京都府立医大)

14:10~14:40 「光による再生医療に用いる組織・細胞の評価」 石原美弥, 菊地 眞(防衛医大)

14:40~15:10 「超短光パルスによる水分子ダイナミクスの計測」 芦原 聡(東京農工大, JST さきがけ)

15:10~15:30 <休憩 20分>

15:30~16:00 「赤外レーザーを用いたタンパク質質量分析 - イオン化とフラグメント化 - 」 鈴木幸子, 藤田珠美, 栗津邦男(大阪大学)

16:00~16:30 「ナノフォトニクスによる非断熱的微細加工」 大津元一(東大)

16:30~17:00 「光による生物システムの操作と計測: 1分子と細胞」 石渡信一(早大)

17:00~17:20 MOC 08 速報 水本哲弥, 有本 昭(微小光学研究グループ)

17:20~17:30 閉会の挨拶

参加費：一般 4,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む・当日ご持参ください)

参加申込：不要 (直接会場にお越しください)

担当委員：森(コニカミルタオプト), 中塚(日立中研), 波多腰(JST), 姚(日立電線), 魚津(三菱レイヨン), 中島(早大)

問合せ先：コニカミルタオプト 事業開発センター 森 伸芳

Tel:042-660-9480 Fax:042-660-9441 E-mail:n.mori@konicaminolta.jp

微小光学研究グループ：代表 伊賀健一；運営委員長 後藤顕也；実行委員長 中島啓幾；副委員長 國分泰雄
プログラムは、微小光学研究グループのホームページ <http://www.comemoc.com/> でもご覧になれます。